

第10回 歴史&ハイキング愛好会 例会実施報告

～成田山新勝寺から房総のむらを訪ねて～

当番幹事 川島 省三

歴史&ハイキング愛好会の第10回定例会が、晩秋の11月21日（土）に実施されました。今回は成田山新勝寺参拝を兼ね、その故事来歴を知り、成田山公園の散策と、次いで県立房総のむらを訪ね、江戸時代後期の生活様式を学び、資料館では考古出土品を真近かに見学しました。

当日は天候にも恵まれ、集合場所であるJR成田駅には、9時40分迄に23名全員が集合し、3連休の初日で賑わう参道を新勝寺へと向かいました。到着するや先ずは平成19年（2007）新建立された総門前で記念撮影しました。信徒会館でボランティアガイドさんと合流し境内へ出発。総門についての説明では、葺股（かえるまた）に十二支の木彫刻があり、楼上に生まれ歳守本尊八体仏が奉安されている由、また仁王門（重文）は天保2年（1831）再建され、左右に密迹（みっしやく）金剛、那羅延（ならえん）金剛が奉安されています。その後もガイドさんの説明誘導により、大本堂参拝し、平和大塔より成田山公園の散策、三池周りの紅葉を楽しみました。例年は、もみじ、イチョウなど一斉に色づき見事な景観ですが、今年は少し時期がずれているそうです。このあと信徒会館にて昼食、そしてJR成田駅よりバスで房総のむらへと向かいました。

房総のむらでは、ガイドさんの案内で最初に「風土記の丘資料館」の見学をしました。原始、古代、中世の遺跡出土品の説明を受け、古代人の生活に想像を巡らせました。江戸後期の建物を再現した「むら」では、武家屋敷、様々な商家など当時の生活様式を垣間見る事が出来ました。

今回は例会に参加された皆さんのご協力により、全コース予定した時間通りに進行出来、3時半に成田駅にて解散いたしました。またその後の有志による懇親会も、18名の参加となり、賑やかに話に花が咲き、5時半に散会いたしました。

今回の参加者は以下の通りです。[順不同]

岩田芳秀 小澤敏宣 川股賢三 櫻井實 白岩仙一 住田勝治 田代周 西長義方
宮武亨 花岡秀男 平木行男 平木七重 古屋榮三 牧田賢二 六角学 山田昌之
佐々木梧郎 湯浅尋夫 宮地秀幸 浦上宜明 野田佑 川上昇 川島省三



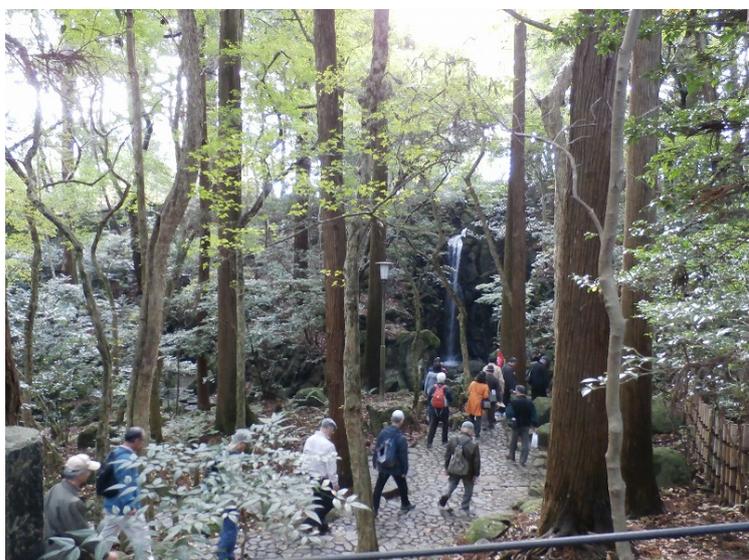
* JR 成田駅から成田山参道に行く参加者

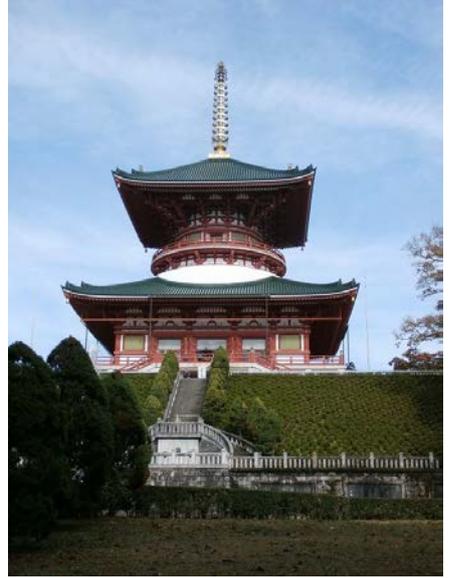


* ボランティアガイドさんより昭和43年建立された大本堂等の説明を受ける



*境内から成田山公園





*千葉県立房総のむら

